

平成 22 年度 事業報告

1 調査研究事業

(1) 調査研究活動

- ① 森林環境教育活動に係る専門的な用語等に関する調査
(助成者) (社)国土緑化推進機構
(期 間) 平成 21 年 9 月～平成 22 年 8 月
(概 要) 森林環境教育に係る専門的な用語等について資料の収集・調査等を行い、簡易な用語集を作成
- ② 上下流連携いきいき流域プロジェクト事業への参画
(実施者) 日本林業技士会
(期 間) 平成 22 年 6 月～平成 23 年 3 月
(概 要) 取組事例集の取りまとめ作成

(2) 他団体の研究活動等への参加

事業活動に活かすため、他団体の研究活動等に参加。

- ① 森林共生フォーラム
- ② 子ども樹木博士認定活動推進協議会
- ③ NPO 法人 自然体験活動推進協議会
- ④ NPO 法人 ウィンターレジャーリーグ

2 普及啓もう事業

(1) 機関誌の発行等

ア 機関誌「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員をはじめ関係機関等に配布。(No.275(2010年4月)～No.286(2011年3月))

イ 参考図書として森林環境教育施設における活動内容の向上に資する「森林環境教育施設の評価シート」及び森林環境教育活動の推進に資する「森林環境教育に関する簡易な用語集」を刊行するとともに、既刊の

「森林・林業体験の基礎」、「森林体験活動指導者のための安全管理ハンドブック」、「森林環境教育アクティビティ・プログラム集」等の普及に努めた。

(2) 第24回森林レクリエーション全国研修会の開催

テーマ 「都市近郊林と森林レクリエーション事業」

開催時期 平成22年11月24～25日（木～金）

開催場所 神奈川県箱根町、静岡県伊豆市

参加人員 23人

研修内容

第1日（11月24日）

○ 箱根町における視察等

大涌谷、神奈川県立恩賜箱根公園、芦ノ湖西岸の国有林など

第2日（11月25日）

○ 伊豆市における視察等

昭和の森・天城自然休養林、天城ふれあいの郷、昭和の森会館（森の情報館、伊豆近代文学博物館など）

(3) 支部総会等の開催

支部総会・研修会等の開催状況

支部名等	開催日	開催地等	本部出席者
道央	22年11月18日	札幌市	伴理事長
旭川	22年3月5日	旭川市	伴理事長
帯広	22年6月29日	足寄町	伴理事長
函館	22年8月6日	函館市	伴理事長
青森 (研修会)	22年10月18 ～19日	青森市（酸ヶ湯温泉ほか）	伴理事長
秋田 (研修会)	22年10月18 ～19日	青森市（酸ヶ湯温泉ほか）	伴理事長
前橋	22年8月24日	前橋市	伴理事長
東京	22年7月8日	東京都江東区	伴理事長

長野	22年7月1日	長野市	中間総務部長
四国 (研修会)	22年7月7 ～8日	三好市(いやしの温泉郷ほか)	伴理事長
賛助会員 研修会	22年2月18日等	東京(森林共生フォーラム「研究会」への参加)	

(注) 青森支部と秋田支部の研修会は合同で開催。大阪支部及び九州支部等は別途実施。

(4) 「森林共生フォーラム」の活動への支援

森林と人との共生に関する総合的な調査研究、情報の収集・提供、研修会等を行う「森林共生フォーラム」の事務局として、研究会や現地研修会の開催等の活動を実施。

(5) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動の目的等をPRするとともに、情報交流等により本活動を全国的に推進する「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、①機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行、②実施機関や活動計画等の登録、③子ども樹木博士認定証や樹木の説明教材「樹木ガイド」の提供、④インストラクターの紹介等の活動のほか、新しい「子ども樹木博士のための樹木ガイド」を作成。

(6) 巨樹・巨木保護運動への支援

国有林野内の巨樹・巨木の保護に資することを目的とする「巨樹・巨木保護中央協議会」の事務局として、情報連絡等の活動を実施。

(7) 森林倶楽部への協力

森林管理局が主催する森林倶楽部の円滑な実施に資するため、参加者の傷害保険への加入に協力。(東北森林管理局：開催回数1回、加入者81人)

(8) 他団体主催行事への後援等

- ① 第21回森と花の祭典—みどりの感謝祭・平成22年度森林の市(協賛)
平成22年5月8～9日(日比谷公園)
- ② ウィンターリゾート2011(後援)
平成22年11月12～14日(池袋・サンシャインシティ)

③ 平成 22 年度国有林野事業業務研究発表会（協会会長賞の授与）
平成 22 年 11 月 17 日（林野庁）

○ 全国森林レクリエーション協会会長賞
（国民の森林部門）

受賞者 徳島森林管理署 森田 朱音 氏
課題名 「小学校への出前森林教室について」

3 情報の収集・提供

- (1) 森林レクリエーション活動に関する事例紹介
- (2) 森林環境教育・健康に関する情報
- (3) 森林を活用した地域振興等に関する情報
- (4) 森林・林業に関する行政等の情報
- (5) 当協会に関する情報

4 第 23 回森林レクリエーション地域美化活動コンクールの実施

都道府県や森林管理局、当協会支部を通じて、森林レクリエーション地域において積極的に美化活動を行っている学校、地域グループ、職場グループ等のボランティア団体等を公募（締め切りは平成 23 年 2 月末日）。

応募総数 25 団体（都道府県推薦 18 団体・森林管理局等推薦 7 団体）について審査委員会による審査の結果、次の受賞団体を決定。

- 農林水産大臣賞（1 点）
宮城県仙台市 緑を守り育てる宮城県連絡会議
- 林野庁長官賞（2 点）
千葉県船橋市 丸山サンクチュアリ
京都府宇治市 森林ボランティアフォレスターうじ
- 協会会長賞（5 点）
宮城県仙台市 仙台市森林アドバイザーの会
三重県四日市市 グリーンパーク岡山を愛する会
兵庫県西宮市 ナシオン創造の森育成会
広島県廿日市市 阿品の森サポータークラブ
徳島県徳島市 特定非営利活動法人徳島共生塾一步会

5 平成22年度森林インストラクター資格認定事業

受験申込者数は641人(前年度728人)、合格者数は171人(同184人)で、平成3年度からの合格者数の累計は3,375人。

森林インストラクターの資格試験並びに養成講習については、平成17年度から、いわゆる環境教育推進法に基づく「人材認定等事業」として農林水産大臣並びに環境大臣の登録を受けて実施しており、平成22年度の実施状況は次のとおり。

- ① 資格試験の公募案内書の配布開始(平成22年2月1日)
- ② 森林インストラクター養成講習の募集開始(平成22年4月1日)
- ③ 森林インストラクター養成講習の実施

区分	科目	期間	日数	場所	受講者数
科目別講習	森林	5.15~5.17	3	東京都文京区 全林野会館 プラザフォレスト	138人
	野外活動等	5.29~5.31	3		109人
	林業	6.12~6.13	2		129人
全科目講習	4科目	8.7~8.14	8		81人

- ④ 一次試験の実施

期日	試験地	会場	申込者数
9月6日	札幌市	北海道経済センター	28人
	東京都	青山学院大学	373人
	名古屋市	東海工業専門学校金山校	52人
	東大阪市	大阪商業大学	104人
	高知市	高知グリーン会館	16人
	福岡市	(財)アクロス福岡	57人

- ⑤ 二次試験の実施

期日	試験地	会場	受験者数
11月14~15日	東京都	全林野会館プラザフォレスト	183人

- ⑥ 合格者の審査・決定(平成22年12月2日)
- ⑦ 合格者の公表・登録開始(平成22年12月7日)

6 森林活動ガイド養成事業

自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、森林体験活動の指導者・パートナーである「森林活動ガイド」を養成。各種の講習等に併せた講習会や他団体との連携による講習会を実施。(申請により自然体験活動推進協議会(CONE)の「CONEリーダー」としても登録)。

平成22年度の実施状況は次のとおり。

(1) 森林インストラクター養成講習に併せた講習会

森林インストラクター養成講習において森林活動ガイド養成講習の内容を盛り込んで実施。

- ① 平成22年5月15日～6月13日(うち8日間) 受講者数 93人
- ② 平成22年8月7日～14日 受講者数 81人

(2) 他団体との連携による講習会

自然体験活動推進協議会の指導者養成団体として、他団体と連携してCONEリーダー(森林活動ガイド)を養成(登録等を実施)。

- 林野庁森林技術総合研修所「森林ふれあい研修」
平成22年7月5日～9日(東京都八王子市) 受講者数 28人

7 森林環境教育ネットワーク事業

平成19～21年度に実施した森林環境教育推進総合対策事業(林野庁補助事業)の実施結果を受けて、引き続き森林環境教育の推進に資するため、活動団体等のネットワーク化を図るためのウェブサイトの運営、メールマガジンの配信、パンフレットの配布等の普及啓発活動を実施。

- ① ウェブサイト「森で学ぼう!森林環境教育ネットワーク」の運営
URL: <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
- ② メールマガジンの配信
第50号(平成22年4月5日)～第66号(平成23年3月15日)
- ③ パンフレット「森林環境教育のすすめ」等の配布

8 陳情・要望等の活動

支部を通じた要望事項や会員等からの照会事項について、林野庁等関係機関へ要請・照会等を実施。

9 会員組織の状況

平成 22 年度における会員数の異動状況

区 分	平成 21 年度末	入 会	退 会 等	平成 22 年度末
会 員	283	-	22	261
賛助会員	18	-	-	18
合 計	301	-	22	279

(注) 退会等には、事業の休止、合併等に伴う減(15)を含む。